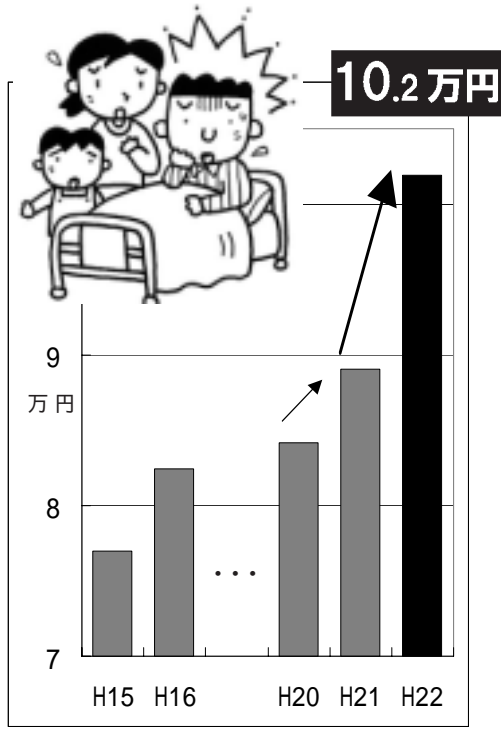


基金の活用・一般会計からの繰り入れで

# 2年連続の値上げをやめさせるため、全力をつくします



松本市国保税一人あたりの平均額の推移

菅谷市長は平成16年の就任直後、日本共産党の申し入れに応え、市政史上はじめて一般会計から、3年間で約15億円を繰り入れ、値上げとはなったものの、当初の値上げ予定巾24%を13%と半分に抑えた経過があります。

「前年度の所得によって税額が決まるため、不況で売り上げが減れば、必死に働かざるをえません。」業者の方の声です。

本来、命と健康を守るはずの医療制度が、その負担のため、病院にもかかれず命を落したり、重税感の中、先行き不安で自殺する人が生まれるなどは本末転倒です。

これ以上の負担増は、市民の命と健康を脅かすだけです。

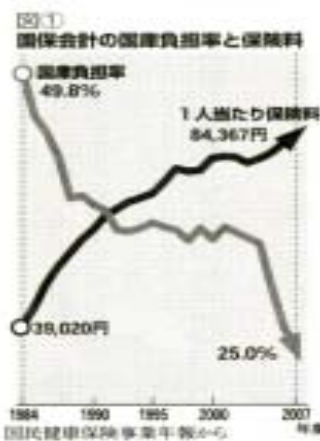
日本共産党・しがの風は、値上げをくい止めるために全力をつくします。

## ●根本原因は、国庫負担金の削減

国保税が高くなった原因は、国が国保会計の負担を半減させたからです。札幌、京都、大阪、福岡などでは、所得300万円の4人家族の国保税が40万円以上。松本市も「14.4%」を値上げすれば、41万円台となり、全国の「最悪グループ」入りに。

鳩山首相も「40万円以上は、相当高い。財源確保に努めたい。」とこたえざるを得ませんでした。

「日本共産党・しがの風」松本市議団は、国へ対策を求めます。

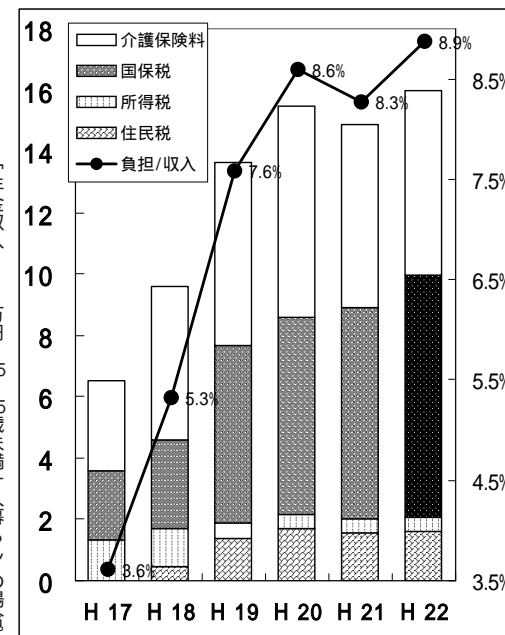


## さらなる負担増では 市民の命も健康も守れません

年金生活者・高齢者にとっては、税制の見直し等の制度改悪と重なって、平成16年に値上げして以来、この7年間で実質6回、5年連続の値上げとなります。

しかも、所得税、市民税よりも、介護保険料、国保税の負担のほうの方が、より重くなっていることがわかります。

(グラフを参照)



## 高齢者には、 5年連続の値上げ

松本市の国保税は、昨年、平均5.8%の値上げをしたばかりなのに、すでに21年度で、約1億1000万円の赤字。さらに22年度、23年度では、毎年7億3300万円づつの赤字の見通しです。

この「赤字」分を、全額保険料で賄おうとすれば、実に「14.4%」の値上げ(2月議会答弁)となり、過去最大の値上げ巾。県下19市中、一番高い国保税となります。

## 「14.4%」の値上げで、 県下一高くなる!?

松本民報

2010.5.11：日本共産党・しがの風  
松本市井川城1-5-3 27-1122